検査試料の取り扱いについて

薬物検査の試料は、血漿または尿を取扱います。

血漿は、ヘパリン処理またはフッ化ナトリウム入りの採血管に採取し、遠心分離した血漿を提出して下さい。その他の抗凝固剤の採血管の場合、正しい分析結果が得られない場合がありますので、ご注意下さい。

血漿は、キャップ付のポリの試験管に入れて、保冷剤入りの発泡スチロールの箱に入れて、お送り下さい（すぐに、輸送ができない場合は、冷凍庫に保管して下さい）。

尿も、遠心分離し、その上清をキャップ付のポリの試験管に入れて、保冷剤入りの発泡スチロールの箱に入れて、お送り下さい（すぐに、輸送ができない場合は、冷凍庫に保管して下さい）。

薬毒物は、LC-MS/MS と GC-MS の両方の機器で分析します。

そのため、

検査試料は **3 ml** 必要です（血漿、尿とも）。

乳児、幼児の場合等、試料が少ない場合には、LC-MS/MS みの分析となることもありますので、ご理解下さい。